

新潟県植物分布資料 (8)

石 沢 進・朱 雁

新潟県分布新記録

ヒノキバヤドリギ *Korthalsella japonica* (Thunb.) Engler [写真 1] ヤドリギ科

新潟：新潟市中央区下大川通新潟グランドホテル：IS-420454 ('08) ,Photo OL080822-13~28, 3755-16A~19A [新潟 5639-70-04]

ヒノキバヤドリギが県内で寄生していることが、新潟日報(2008年7月23日)で報道された。その状態を確認し、加えてその宿主植物に追加する種があったので、ここに記録する。

ヒノキバヤドリギの寄生は、ホテルの庭木であり、散布された種子から発芽したものではないとみられる。同種の分布については、北陸金沢でも記録されているが、自然の樹林中ではなくて、庭に植栽された植木であること記されている(里見 1989)。新潟の場合も金沢と類似した状況であるので、苗木の生産地で寄生したものを新潟に移植したとみられる。

明らかに人為的に導入されたと推定される植物を「県内希少種」と位置づけることにも抵抗があるが、新潟で生存し、花や果実をつけているので、県内の分布として記録する。観賞用などで持ち込まれた種が、野生状態で発見されることも多い。そのような場合にも「県内希少種」と表現することは妥当でなかろう。

ヒノキバヤドリギが寄生する種についてツバキ以外の次の植物60種以上が報告されている。

ブナ科(シイ)；ヤマグルマ科(ヤマグルマ《トリモチ》)；クスノキ科(クスノキ、ヤブニッケイ、ハマビワ、タブノキ、シロダモ)；バラ科(カマツカ、ニワウメ、イクリ、サクラ(sp.))；マンサク科(イスノキ)ミカン科(ユズ、ミカン)；トウダイグサ科(ヒメユズリハ)；ツゲ科(ツゲ)；ウルシ科(ハゼノキ)；モチノキ科(イヌツゲ、モチノキ、タマミズキ、ナナメノキ、ソヨゴ、クロガネモチ)；カエデ科(ヤマモミジ)；ニシキギ科(コマユミ、マサキ、モグレイシ)；ホルトノキ科(ホルトノキ、コバンモチ)；ツバキ科(ツバキ、ヤブツバキ、サザンカ、ハマヒサカキ、ヒサカキ、サカキ、モッコク、チャ)；グミ科(アキグミ、ナワシログミ)；ザクロ科(ザクロ)；フトモモ科(アデク)；ツツジ科(ネジキ、アセビ、ミツバツツジ、ヤマツツジ、オンツツジ、ツクシアカツツジ、シャシヤンボ、スノキ)；カキノキ科(カキ、クロキ)；ハイノキ科(ミミズバイ、シロバイ、ハイノキ、クロバイ、カンザブrouノキ)；ヒイラギ科(ネズミモチ、ハチジョウイボタ、ギンモクセイ、ヒイラギモクセイ、ヒイラギ)；キョウチクトウ科(テイカカズラ)；スイカズラ科(コックバネウツギ、スイカズラ)

新潟日報の記事では、「ツバキの下のツゲにも寄生している」と記されているが、ツゲではなく、イヌツゲである(石沢 2008)。

[文献]

長野菊次郎(1895)「ヒノキバヤドリギ」ノ寄生. 植物学雑誌 9(106) : 463-464

檜山 庫三(1952)野草 18(9) : 1-2.

越智一男・里見信生(1953)北陸の植物 2(3) : 49-51.

里見 信生(1964)ヒノキバヤドリギの追記 北陸の植物 3(2) : 49-50.

里見 信生(1989)北陸のヒノキバヤドリギ 植物地理.分類研究 37(1) : 64.

石沢 進(2008)ヒノキバヤドリギの寄生 新潟県植物保護 第43号 : 19-20.

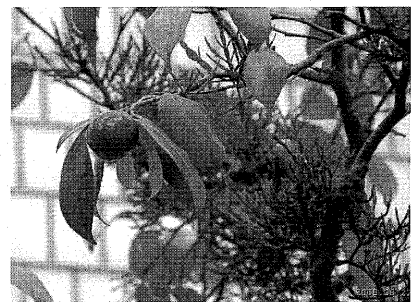


写真 1-1 寄生状態 新潟：新潟市中央区下大川通新潟グランドホテル：2008 8/22 (OL080822-18)

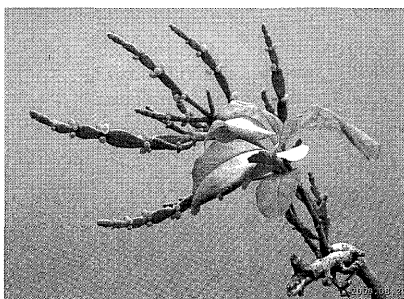


写真 1-2 イボタ類に寄生
同所：2008 8/22 (OL080822-23)

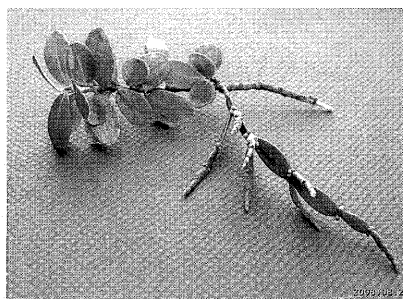


写真 1-3 イヌツゲに寄生
同所：2008 8/22 (OL080822-28)

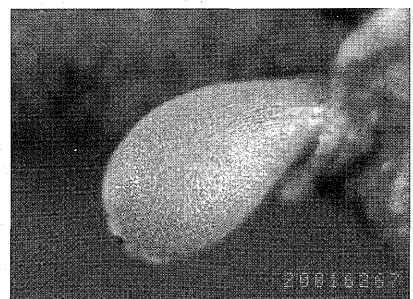


写真 1-4 若い果実
同所：2008 8/22 (3755-16A) ×32

ミクリゼキショウ *Juncus ensifolius* Wikstr. [写真 2] イグサ科
 新潟：妙高市笹ヶ峰 真川 (杉野沢橋上流部) 1260m：IS-420338 ('08), Photo 080807-105, OL080809-14-15, 3752-6A~12A [妙高山 5538-20-54]
 本種は、本来高山帯に生える植物であるが、笹ヶ峰では、真川の河川沿いの低所に分布している。高山帯から一時的に運ばれて生育しているとみられる。



写真 2-1 果実をつけた茎葉
 笹ヶ峰 真川 (杉野沢橋上流部)
 1260m：2008 8/7 (080807-105)

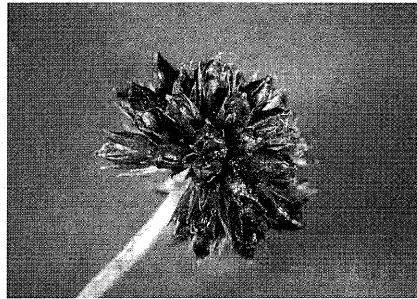


写真 2-2 頭花
 同所：2008 8/7 (3752-6A) ×7

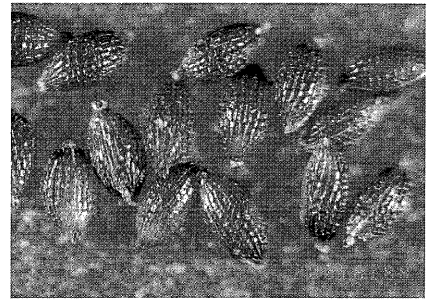


写真 2-3 種子
 同所：2008 8/7 (3752-11A) ×63

スナジスゲ *Carex glabrecens* (Kük.) Ohwi [写真 3] カヤツリグサ科

新潟：村上市塩谷 荒川河口 1m：IS-419364 ('08), Photo OL080529-32~57 [中条 5739-13-73]
 県内初記録であり、千葉道徳氏により発見された。生育地の詳細については、34頁に掲載。



写真 3-1 小穂をつけた茎葉 村上市塩谷
 荒川河口 1m：2008 5/29 (OL080529-32)



写真 3-2 小穂
 同所：2008 5/29 (OL080529-41)

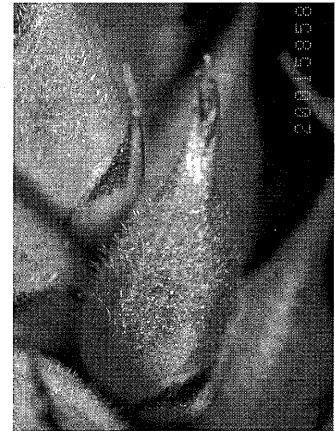


写真 3-3 果胞
 : 2008 5/29 (3738-13) ×20

[帰化植物]

メリケンガヤツリ *Cyperus eragrostis* Lam. [写真 4] カヤツリグサ科

新潟：新潟市 (横越) 焼山 (阿賀野川右岸) 8m：IS-420725 ('08), Photo OL080917-61~67 [新津 5639-51-83]
 帰化植物便覧 (太刀掛・中村 2007) および帰化植物分布図 (金井他2008) に新潟県の記録がないので追加する。

[文献]

太刀掛 優・中村 慎吾 (2007) 改訂増補「帰化植物便覧」. 比婆科学教育振興会
 金井 弘夫・清水 建美・近田 文弘・濱崎 恭美 (2008) 都道府県別「帰化植物分布図」(作業地図)



写真 4-1 生育地 新潟市 (横越) 焼山 (阿賀野川右岸) 8m：2008 9/17 (OL080917-66)



写真 4-2 果穂
 同所：2008 9/17 (OL080918-2)

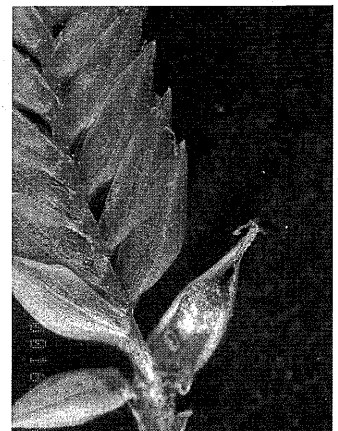


写真 4-3 1果穂
 同所：2008 9/17 (3757-4) ×24

新潟県分布追加記録

ジャヤナギ *Salix eriocarpa* Franch. et Sav. [写真 5] ヤナギ科

新潟：新潟市中央区女池（県立図書館脇）0m：IS-418674~418676・419224（'08），Photo OL080517-1~8・11・33~35 [新潟 5639-60-64]

新潟：村上市塩谷 荒川河口 1m：IS-419365（'08），Photo OL080529-42~46

本種の分布は、旧西蒲原郡巻町や旧中頸城郡柿崎町に記録している（池上・石沢 1993）が、上記にも確認したので産地を追加する。

池上 義信・石沢 進（1993）新潟県植物分布図集 第14集：91.

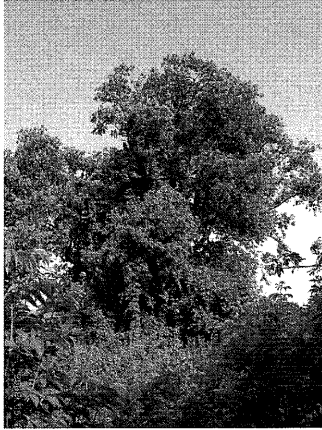


写真 5-1 古木 新潟市中央区女池（県立図書館脇）0m：2008 5/17（OL080517-2）

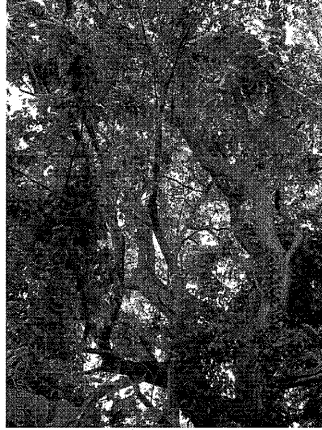


写真 5-2 樹の枝張り
同所：2008 5/17（OL080517-11）

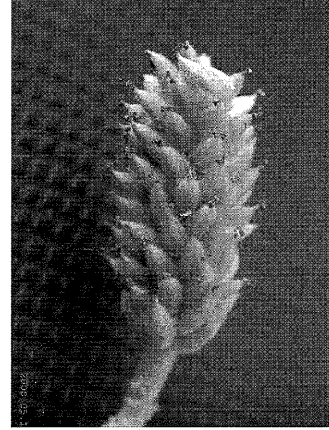


写真 5-3 雌性尾状花序
同所：2008 5/17（OL080517-34）

マルバマンネングサ *Sedum makinoi* Maxim.

[写真 6] ベンケイソウ科

新潟：上越市牧区原 250m：IS-420522（'08），Photo OL080829-16~19 [高田東部 5538-43-52]

本種の分布は、阿賀野川流域で知られている（石沢 1985）が、上越地方でも確認できたので、記録する。なお、この生育地は、竹内紀夫氏の案内により追加したものである。

石沢 進（1985）新潟県植物分布図集 第6集：155.



写真 5-4 樹の枝張り
村上市塩谷 荒川河口
1m：2008 5/29（OL080529-45）



写真 5-5 雌性尾状花序
同所：2008 5/29（OL080529-44）

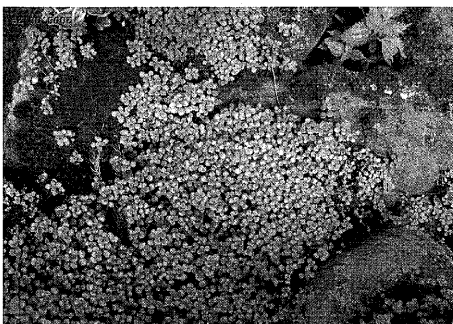


写真 6-1 群落 上越市牧区原
250m：2008 4/29（OL080829-16）

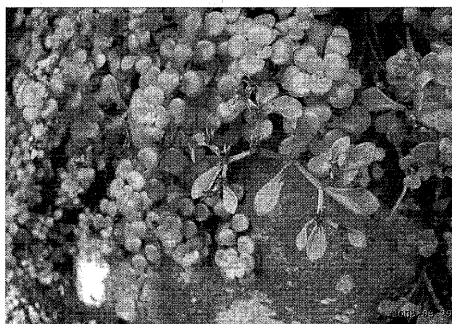


写真 6-2 開花株
同所：2008 4/29（OL080829-17）



写真 7 生育株
東蒲原郡阿賀町大牧<黒岩大牧線>
300m：2008 5/20（OL080520-10）

フジウツギ *Buddleja japonica* Hemsl. [写真 7]

フジウツギ科

新潟：東蒲原郡阿賀町大牧<黒岩大牧線>300m： IS-419249 ('08),Photo OL080520 [津川 5639-43-43]

本種は、県内の南部と阿賀野川沿いに分布している(池上・石沢 1992)。阿賀野川沿いの生育地は、林道の開設により、群生地が破壊されて絶滅してしまったが、この生育地の近くを調査する度に注目し、2008年にその群生地から50mほど離れたところからうじて1株の生育を確認した。道路に近接して生えているので、絶滅させないように配慮していただきたいものである。

池上 義信・石沢 進 (1992) 新潟県植物分布図集 第13集：84.

ホソバムカシヨモギ *Erigeron acer* L.var.*linearifolius* (Koidz.) Kitam. [写真 8] キク科

新潟：妙高市笹が峰 真川 (杉野沢橋上流部) 1270m： IS-Photo OL080915-1~3 [妙高山 5538-20-54]

新潟県内では、津南町大赤沢硫黄川に記録があるだけであり(1994 津南町の自然 植物編)、笹ヶ峰の分布を追加する。

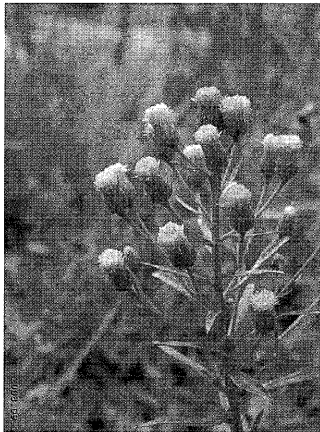


写真 8-1 頭花 妙高市笹が峰 真川 (杉野沢橋上流部) 1270m：2008 9/19 (OL080915-1)

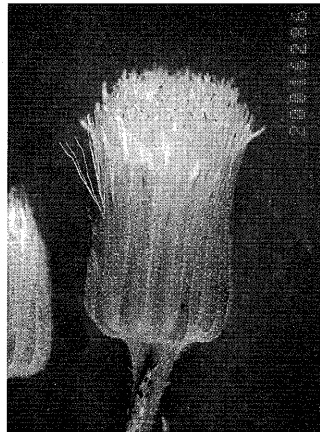


写真 8-2 1頭花 同所 :2008 9/19 (3756-9A) ×10



写真 8-3 瘦果 同所 :2008 9/19 (3756-9A) ×10

スジヌマハリイ *Eleocharis equisetiformis* B.Fedtsch. [写真 9]

かやつりぐさ科

新潟：佐渡市両津歌見 (川沿い) 60m： IS-Photo 080724-173 [(小田①) 5738-23-48]

本種は、新潟県の絶滅危惧Ⅱ類、環境庁の絶滅危惧Ⅱ類であり、貴重な種である。

本種は、これまで新潟市佐潟で記録されているだけであり、佐渡の分布を追加する。茎に縦の数条が明らかであり、本種に同定した。ただし、本種の生育地は、砂がちの湿地であると記録されているが、この生育地は、海岸から山地であり、砂を含んだ土壌ではない。別な分類群の可能性がある。



写真 9-1 生育地 2008 7/2 (080724-173) 佐渡市 両津歌見 (川沿い)60m

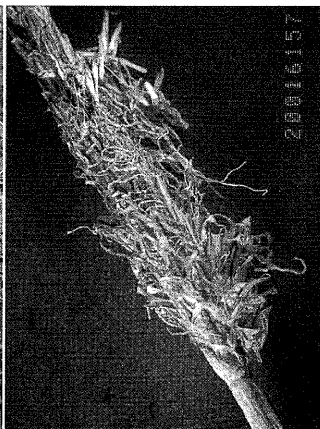


写真 9-2 小穂 2008 7/2 (3751-5A) ×7

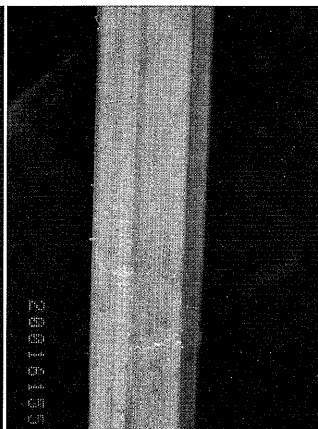


写真 9-3 茎 2008 7/2 (3751-3A) ×25 佐渡市 両津歌見 (川沿い)60m



写真 9-4 瘦果 2008 7/2 (3751-3A) ×32 佐渡市 両津歌見 (川沿い)60m